

組合からの“発信”

今回は、中畑安伴副理事長(中畑木材株式会社 代表取締役社長)からのメッセージです。

“木材の自給率50%は可能か?”

第93代日本国内閣総理大臣 鳩山由紀夫氏(2009/9/16~2010/9/16)が木材自給率50%を唱えました。

ご承知のように日本の国土(3,779万ha)の3分の2(2,500万ha)は森林である。木材の蓄積量は自然林を含め44億m³あるとされている、その内の60%が人工林で26.5億m³あります。成長率3.4%で見積ると9,000万m³/年ずつ増えていることになる。

一方、森林・林業白書(H22年度版)によれば、H21年度実績の総供給量は6,479.9万m³(国内生産1,827.4万m³(自給率28.2%)、輸入4,652.5万m³)でありました。H12年には1億m³もの供給量でしたが、仮に需要が回復(8,000万m³程度に)したとしても9,000万m³ずつ蓄積量が増えているのですから、理論上は100%自給できるといえることとなります。50%の自給率目標達成(4,000万m³)はラクチンということになります。しっかり伐採して植林していけば自給自足も可能である(循環生産)。バンザ〜イ!!

しかし、問題もないわけではない。輸入材との価格差がネックになっている、そしてまた林業従事者の高齢化も深刻な問題としてある。価格に対しては、特に製材用材(37.2%)の内、建築材は長尺で断面寸法の大きいものが求められるため、さらに価格差が拡大する。しかし、これはメーカーの木材加工技術の向上と研究開発により集成材化(間伐材等利用)によって姿を変え長尺・大断面の材料として実績を上げています。価格もリーズナブルなものになりつつあります。

なぜ、自給率50%なのか、1997年(H9.12.11)京都議定書(COP3)で1990年比CO₂マイナス6%決議、その期限(2008~2012の間)を来年迎える。CO₂の森林吸収源対策で3.8%の確保を目標としているからである。2009年(H21.12.25)鳩山内閣は「森林・林業再生プラン」を策定し、今後10年で自給率24%(H20)から50%の目標を掲げたのである。

あらためて森林の役割を考えたとき ①水土の保全(国土、水源) ②動植物の保護 ③風致景観の保全 ④大気汚染の防止などが言われている。プランでは経済対策として低迷する国内林業の活性化と山村での雇用創出を御旗としているが、地球温暖化対策の施策でもある。

現在の地球環境で問題なのは化石燃料の焚きすぎにある。樹木はCO₂を吸収して炭素に変え、酸素を排出して成長(光合成)するのは周知のこと、しかしCO₂を盛んに固定してくれるのは新陳代謝の盛んな若木のときであり、老木になると衰える。杉で45年、桧で55年と言われている。であるからして、成長の鈍化した樹木は伐採して、そのあとに若木の植林をすべきである。

ちなみに4,000万m³ってどれくらいの量でしょうか。なかなかピンとこないところですが、京セラドームをイメージしていただきたい。ドームの高さが60mありますので面積33,800m²を掛算すると202万8千m³になります。ですから、京セラドーム20杯分になりましょうか。

ちなみにドーム1杯分って? 河内林業管内(河南町、河内長野市、千早赤阪村、和泉市)の山林(10,603ha)に生えている人工林(蓄積量206.4万m³)に匹敵します。

つまり、木材団地の工場の高い屋根の上から見渡した山々(二上山含まず〜葛城山〜金剛山〜岩湧山〜横尾山まで)の全ての樹木ということになります。多いと思うか、少ないと思うかそれぞれですが、チップ・パルプの使用量(46%)も見逃すことはできません。1枚の紙からでも大切に地球の恵みに感謝しましょう。

今年は国連が定める「国際森林年」の年でもあります。地球の肺、人類の生命線ともいえる森林のことを今一度見つめ直してみませんか。

中畑 安伴

CONTENTS

- 組合からの“発信”……………P1
- 組合からの情報発信基地……………P2~3
- 木のある暮らし……………P4
- 組合員企業紹介……………P5~6
- こだわりスポット・みはらトピックス……………P7
- 堺歴史探訪……………P8
- 毎日の健康な暮らし……………P9
- コラム 家族の一人……………P10

1 組合からの報告

東日本大震災の被害にあわれた皆さまへ

この度の「東北地方太平洋沖地震」により、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々とご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

新年互礼会の実施

1月13日(木)

協同組合恒例の新年互礼会が、今年も昨年同様リーガロイヤルホテル堺(堺市堺区)において、竹山修身堺市長をはじめ各方面から来賓の方々を招き、組合員・友好企業・地区会役員ら総勢104名の出席のもと盛大に開催した。



第8回幹部研修会の実施

3月11日(金)

「福利厚生・親睦委員会」では、今年度2回目となる研修会を実施した。(参加者21名)

第8回となる今回は、「奈良を習おう」をテーマに昨年遷都1300年祭で話題になった「平城京跡」や「東大寺」等を訪れた。その後、明治元年より創業の「奈良豊澤酒造株式会社」を訪問し、同社の豊澤専務より、酒造りの熱い想いや取り組みなどを伺ったあと、麴造りから手作業に徹した酒造りの工程などを見学した。

また、研修会終了後は、大阪市内の徐園にて懇親会を開催し、参加者相互の親睦の和を広げた。



▲奈良平城京跡 大極殿 見学風景



▲奈良豊澤酒造株式会社 見学風景

2 協同組合新職員の紹介について

協同組合事務局の上田めぐみ職員の退職(1月15日付)に伴い、平成22年12月16日より、手島加恵職員が入社しました。

手島加恵職員からのメッセージ

はじめまして。昨年12月より、大阪木材工場団地協同組合の事務局職員としてお世話になっております、手島加恵と申します。前職は病院、福祉関係の栄養士として長年勤めておりました。今回、新しい分野への挑戦となりますが、自身の社会人経験を生かしながら、皆様により快適に仕事へ携われる環境作りのお手伝いが出来ればと考えております。歴史ある組合の一員であることを自覚し、常に初心を忘れず日々精進してまいります。まだまだ不慣れな事も多く、皆様にご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、事務所入り一番前、いつも笑顔(*^_^*)でお待ちしています。気軽にお声掛け下さい。皆様にご挨拶できること楽しみにしております。これからよろしくお願いたします。



2 今後の予定

新入社員研修会のご案内

平成23年度の新入社員研修会は、下記の概要で開催いたします。

開催日	4月4日(月)~6日(水)
開催場所	組合会館2階大会議室
宿泊場所	河内長野荘 (河内長野市長野町)
講師	小田全宏氏 (株)ルネサンス・ユニバーシティ 代表)

(株)オートシステム

タイヤ・ホイール専門店

国産・輸入・多種取り扱い。
安心してご購入いただけます。

〒587-0042 堺市美原区木材通2-1-39
TEL.072-363-0772

旬字料理 扇

- 会席料理
- 河豚料理
- 鍋料理
- 仕出し料理
- お弁当

営業時間
AM 11:30~PM 2:00
PM 5:00~PM 9:00
定休日 月曜
各種コースご用意できます。
時間・曜日・ご予算等お気軽にご相談ください。



〒587-0002 堺市美原区黒山104 072-362-0880